

平成 29 年 9 月 19 日(火)

情報セキュリティセミナー

昨今、国立大学法人等において、基本的な情報セキュリティ対策を行っていても巧妙な手口により情報セキュリティインシデント（ウイルス感染、不正アクセス、Web サイトの改ざん、情報漏えいなど）が発生しています。情報セキュリティインシデントは、大学の信用失墜や業務遂行に重大な影響を及ぼすなど、大学の運営に支障をきたすこととなります。また、社会に対する責任をになう観点から、国立大学法人等においても情報セキュリティ対策の強化が重要な課題となっています。

情報セキュリティインシデントが発生した場合、被害の拡大を防止するための対策が必要ですが、CSIRT（Computer Security Incident Response Team）を構成するサイバーセキュリティ人材の育成が課題となっています。本講演では、これからのセキュリティ対策の考え方と人材育成の動向について解説をしていただきます。

【講演内容】

情報機器は私たちの業務を支える必要不可欠な道具となり、扱う情報の重要度が増すにつれ、サイバー攻撃対策は必須のものとなった。その一方、感染パソコンの即時隔離のような従来型のサイバーセキュリティ対策は、業務に及ぼす影響が大きすぎ、採用できなくなりつつある。セキュリティと業務への影響のバランスを考慮し、最も適切な対策を選択することができるサイバーセキュリティ人材の育成が求められるようになっている。今回は、新たなセキュリティ対策の考え方と人材育成の動向について説明する。

【講師紹介】



高倉弘喜 教授

国立情報学研究所

サイバーセキュリティ研究開発センター長

内閣官房情報セキュリティセンター、総務省、経済産業省、文部科学省、情報処理推進機構、JPCERT/CC、京都府警、愛知県警、JNSA などにおいてサイバーセキュリティに関する委員会に参加

未知のサイバー攻撃の検知・追跡・対抗策構築に関する研究に従事し、IEEE COMPSAC のサイバーセキュリティに関するシンポジウム委員長など国際会議の運営にも協力

【問い合わせ先】 愛媛大学総合情報メディアセンター

電話：089-927-8803 メール：center@dpc.ehime-u.ac.jp



【日 時】

平成 29 年 9 月 19 日(火)

【場 所】

総合情報メディアセンター 1F
メディアホール

【講 師】

高倉 弘喜 教授

【演 題】

これからのサイバーセキュリティ
人材に求められる能力

【対 象】

学生・教職員

【主 催】

総合情報メディアセンター

【セミナー次第】

受 付 13:30～

メディアホール前ホワイエ

挨 拶 14:00～14:05

総合情報メディアセンター長

講 演 14:05～15:35

高倉 弘喜 氏

質疑・応答 15:35～15:50

本学の取組 15:50～16:10

総務部総務課法規チーム